

# 組拡ニュース

第1号 23.6.18 ボーイスカウト福岡県連盟組織拡充委員会

## はじめに

皆さま 本年度の初期登録者数が3,880名と遂に4,000名を割りました。昭和40年の登録者数が3,651名であり、ほぼ46年前の福岡県連盟の規模に縮小しました。必ずしも大きいことだけが良いことではありませんが、スカウト教育を効果的に展開するのに、1個隊当たり1~2班(組)で十分でしょうか?

目標(=あるべき姿)と現状との差を「問題」と定義されますが、「問題」も漠然と見ていては見逃すことが多々あります。問題意識が無ければ、目には映っても「見えた」ことになりません。皆さまの頭の中に目標を明確にイメージすることが大切だと考えます。

さて、「経営の見える化」を推進している企業が多数あります。経営は概念ですから見えにくいので、それが見えるようにしようという考えです。組織拡充の問題点を「見える化」し、ボーイスカウト運動を推進するために本ニュースを発行した次第です。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。 組織拡充委員長 正木 伸一

## 初期登録状況

地区	BVS		CS		BS		VS		RS		隊指導者	スカウト	団委員	スカウトクラブ	合計
	L	S	L	S	L	S	L	S	L	S					
北九州東	22	27	59	96	44	117	19	61	12	35	156	336	115	2	609
北九州西	22	44	42	94	41	100	19	76	6	27	130	341	106	36	613
福岡東	25	44	65	92	60	148	30	129	9	37	189	450	114	23	776
福岡中	18	31	24	58	26	52	12	62	11	58	91	261	106	19	477
福岡西	20	38	45	102	29	108	12	52	12	67	118	367	108	11	604
福岡南	32	62	74	121	46	139	28	75	15	58	195	455	134	17	801
合計	139	246	309	563	246	664	120	455	65	282	879	2210	683	108	3,880

## 組織拡充委員のご紹介

伊藤一郎さん(北九州第55団)

武井靖行さん(福岡第19団)

佐野正徳さん(北九州第3団)

芳本建明さん(大野城第1団)

栗山清一さん(福岡第37団)

正木伸一さん(筑紫第2団)

よろしく お願いいたします。

## 組拡のアイデアと意見

- ・周年事業に元スカウト、元スカウト指導者等に当時の顔写真を付けて招待状を送り、人的・資金的協力を得る見込みである。
- ・10年後にタイムカプセルを開ける。新年初集会に声かけすると復帰者もでてくる。
- ・500枚チラシを配ったが、反応はゼロ。学校経由で子どもにも行き渡った筈だが。駅へのポスター張りも効果は少ない。最も反応があったのは、市広報紙への掲載だった。
- ・保護者とスカウトのクチコミが一番だが、単にクチコミをお願いするだけでなく、どのようにクチコミすれば効果があるのかを考えねばならない。
- ・成果が出ている団の状況を知りたい。組拡研修で成功事例の発表をお願いしたい。
- ・幼稚園周囲やリフォーム中の家にポスターを貼ってもらった。
- ・BVS、CSは子どもがいる公園で集会をしてもらっている。おじいちゃんが見ても孫に伝わる。団の分かる旗を揚げて行う。
- ・やさしいキャッチコピーのポスターを作る。BS専門用語は一般向きではないので入団（入隊）マニュアルに多用しない。注釈をつける。
- ・対象保護者と同年輩の人が勧誘すべきである。  
隊長は話をする時間的余裕を持つべきである。
- ・保護者とのつながり強化のためには、総会後の飲み会も効果的である。
- ・団行事にはVS、RSを前面に出す。総会を取り仕切らせても良い。  
保護者の見る目が違ってきて、保護者の後押しが出てくる。
- ・意識改革が必要である。自発活動を自分の生活の中で成人指導者が積極的に行う必要がある。そのため何をすれば良いのか考えよう。
- ・組織拡充計画書に基づき行動計画を実施しよう。分からなければ団担当コミッショナーを活用しよう。
- ・ピークの昭和60年代、BSは、保護者は、指導者は、何をどうやっていたのだろう。少し明るい過去の様子を振り返ってみては？今は、何が足りない？

組拡のアイデア・ご意見は  
県連組織拡充委員長宛てお寄せください。

